

長久手市行政評価票

事業番号	3	事業の名称	公共交通利用促進事業	担当部署	部	課
					行政経営部	経営管理課

事業の目的・概要	(目的) 長久手市地域公共交通総合連携計画の目標「みんなで支える 人と環境にやさしい公共交通」を具現化するため、公共交通の利用促進により、過度に車に依存しないエコモビの推進を図る。 (概要) 長久手市地域公共交通会議にて、利用実態や利用者満足度などを調査・検討し、利便性の高い地域公共交通の展開を図る。また、愛知県とリノモ沿線市との共同で沿線の施設とリノモを使ったイベントを実施したり、リノモウォーキングを実施することで交通手段としてのリノモをPRする。さらに市民目線による公共交通に関するかわら版(タイトル、市民協力者(執筆者)を公募)を発行することで親しみのある公共交通への醸成を図る。また、住民団体の地域づくり活動への支援をすることで、リノモ沿線の活性化を図る。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	他の市町においても、公共交通に関する協議会等を設け、公共交通の利用促進・利用者の利便性向上を図るとともに、コミュニティバスにおいては市外へのルートを設置することで広域的な連携を図る市もある。また、民間路線の廃止に伴い、金銭補助や移動手段確保のためにコミュニティバスを導入・拡充している自治体もある。							
	事業期間	事業開始年度	平成18年度	終了(予定)年度			—						
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民				総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	移動手段を車から公共交通に、普段公共交通を利用しない人が乗るような利便性の高い公共交通体系の展開。					うち	一般財源	2,359	2,179	5,714	5,591		4,852
							国費・県費	0	0	0	0		0
					地方債	0	0	0	0	0			
					その他	0	0	0	0	0			
					受益者負担額	0	0	0	0	0			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠				H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明			
																H25目標値	H26予算	
① 地域公共交通会議 運営事業	市内外の住 民に	●	●	●	●	住民満足度の高い市 内公共交通機関の ネットワークを構築す る。	会議を5回 開催し、N ーバス運行 経費補助申 請手続やか わら版を発 行	公共交通利用者 数	リノモ:19,060人 Nーバス:563人 名鉄バス:2,222人 リノモ:19,800人/日 Nーバス:601人/日 名鉄バス:2,111人/日 リノモ:18,150人 Nーバス:495人 名鉄バス:2,464人	人	地域公共交通総合 連携計画で目標と して定められた数値 (H25年度にH20年 度比10%UP)	1,734	1,554	5,089	4,966	4,227	A	現行どおり実施していく。また、平成26年度は長久手市第2地域公共交通総合連携計画を策定し、新たな取組みとして、公共交通シンポジウムの開催を予定しており、その事業費を予算計上しています。今後も本市の公共交通を維持・確保していくためにも事業を継続する。
② リノモ夏休みイベント 開催事業	市内外の住 民に	→	→	→	→	イベントに参加しても らい、その後もリノモ を使用して沿線施設 を利用してもらう。	27回開催 延参加者数 2,359人	7~8月リノモ利 用者数	千人	リノモ利用者数前年 同時期実績(7~8 月)から6%の増加 (過去3年間の毎年 の伸びが約6%)	500	500	500	500	500	B	目標値には達していないが、前年より期間中のリノモの利用者が増加している。今後も参加者アンケートなどを参考に、内容改善を図ったり、体験型のイベントを増やすなど、参加者により満足していただけるイベントを目指し、継続して事業を実施する。	
③ リノモウォーキング開 催事業	市内外の住 民に	→	→	→	→	魅力あるリノモ沿線 施設をPRし、交通手 段としてのリノモを知 り、利用してもらう。	13回開催 延参加者数 16,100人	ウォーキング参 加者数(1回あた り)	人	前年度実績を目標と した。	1,369	—	1,238	—	1,369	—	B	前年に比べ、参加者が減少している。そのため、リノモ沿線で開催されるイベントと協力したり、他事業でのウォーキングイベントと開催が重ならないような日程調整など、事業費をかけない方法で改善を行う。
④ リノモ沿線地域づくり 活動促進事業	市内外の住 民に	→	→	→	→	リノモを積極的に活 用した沿線の地域づ くりに取り組むことで、 沿線の活性化を図 る。	4件の事業 を支援	リノモ年間利用 者数	千人	リノモ利用者数前年度 実績から5%の増加 (過去3年間の毎年 の伸びが約5%)	6,959	125	125	125	125	125	B	支援事業の応募団体が固定化しつつあったため、平成25年度は新事業を検討し、リノモ利用者の多くを占める大学生に着目し、沿線大学の、リノモを対象とした活動グループを支援することとした。直接の効果は見えないが、活動内容の周知やイベント等の実施しており、年間のリノモ利用者は前年より増加している。

事務事業の 改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	③	リノモウォーキング開 催事業		ウォーキングの利用者を増やすため、立ち寄りスポットの新規開拓を行う。
④	リノモ沿線地域づくり 活動促進事業	活動促進事業の応募条件として、継続支援は行わないこととし、新たな活動団体への支援を目指す。	公共交通シンポジウ ムの開催	本市の公共交通の新たな活動として、市民の公共交通に対する意識の醸成、公共交通の情報発信の場として、公共交通に関するシンポジウムを開催する。